

平塚市民病院の改築 新たな救急棟と外来棟を建設 25年度と27年度に完成予定



議員 平塚市民病院では、現在の管理棟と救急棟を新たに救急棟と外来棟として建て替え、南棟が持つ機能を移設するとのことだが、これら新棟の規模と事業費について聞きたい。

副市長 新棟には現在の南棟が持つ機能だけでなく、手術室などを移設して高機能設備を導入する計画である。延床面積は約一万八〇〇〇平方メートル、総事業費は、建設資材の高騰なども考慮して約一〇七億円を見込んでおり、二七年度の完成予定である。また、現在の南棟は新外来棟の供用開始後に解体することになる。

議員 新棟完成までのスケジュールを伺いたい。

副市長 二十一年度から二十二年度にかけて設計作業を行い、二十三年度の着工を予定している。

議員 二期に分け、一期目の新救急棟は二十五年、二期目の新外来棟は二十七年の完成予定である。また、現在の南棟は新外来棟の供用開始後に解体することになる。

議員 医療の充実に向けた取り組みを尋ねる

議員 市民病院として将来どのような姿が望ましいか、現在、平塚市民病院将来構想(案)の中でさまざまな視点から検討されているが、市民病院の今後の在り方について見解を聞きたい。

副市長 市民病院は二次

医療機関として救急、手術、入院業務などの高度医療全般にわたる期待が大きく、公立病院が担うべき医療や地域連携の観点から小児・産科医療の充実が市民病院の責務であると考えている。

議員 医療の充実に向けた今後の取り組みを聞きたい。

副市長 二四時間三六五日救急医療の提供が可能な体制の整備や、地域周産期医療センターとしての機能の充実などを目標に掲げ、医師や看護師等の招へい、適正配置、設備の刷新を進めていく。

議員 近年、平塚市民病院では医師や看護師不足により、スムーズな病院運営に支障を来しているのではないかと危惧する。医療職の確保と業務に専念できる職場環境を創出するため、院内保育所を再開することだが、これまでの経過と今後の予定を聞きたい。

市民病院事務局長 平成十八年十二月に女性医師を含む各職場の代表二人で構成する「院内保育

所検討会」を設置し、運営方法等について検討を重ねてきた。その結果、閉鎖していた既存の保育所を修繕して再開することとした。平成二十年八月に工事に着手し、十月末に完了、十二月一日に開所する予定である。

議員 再開する院内保育所の運営形態を伺いたい。

市民病院事務局長 以前の利用対象者は原則看護職のみであったが、医師等を含む医療職全体に拡大する。

大する。通常保育は午前七時三〇分から午後六時までとし、午後八時まで延長可能とした。また、土日の開所は月二日とするが、祝日は年末年始を除きすべて開所する予定である。さらに二四時間保育も週二日実施する。

議員 利用料金について聞きたい。

市民病院事務局長 本市市立保育園の保育料算定基準を参考にするとともに、近隣自治体病院の保育所の保育料と比較・検討し、病院間における医療職獲得競争に勝てるよう設定している。

請願・陳情のてびき

市政等について要望や意見があるときは、だれでも議会に請願や陳情を行うことができます。

〈請願書・陳情書の提出方法〉

提出には、日付、住所、氏名(団体名・役職名)、あて先(平塚市議会議員〇〇〇〇様)の記載と押印が(請願書には紹介議員の署名も)必要です。

請願書の提出締め切りは、各定例会の本会議第2日目の午後5時までです。また、陳情書は各定例会でおおむね3回開催される議会運営委員会の2日前(土・日曜日、祝日を除く)までです。

なお、提出された請願書・陳情書の写しは全議員に配付しています。

※請願者・陳情者の住所・氏名は一般に公開されますのであらかじめご了承ください。

(仮称)次期環境事業センターの運営 DBO方式採用の経緯問う

議員 本市のごみ焼却場については平成十七年三月に行った老朽化調査の結果、再整備の検討が望ましいとの報告を受け、新たな焼却場の建設に向けた検討が行われている。

環境部長 見直しの主なものは①現行の要綱の「猫を飼養している」の「飼養」を外すこと、②同一年度一世帯の対象を「五匹」までとすること、③補助金額を雌猫五〇〇〇円、雄猫三〇〇〇円とすること、④手術する開業獣医師を「神奈川県内」とすること、の四点である。これらの改正は平成二十年十月一日の施行を目指して事務手続きを進めている。

議員 新たに建設する焼却場はDBO方式で運営することだが、この方式の特徴を聞きたい。

環境部長 DBO方式は公設民営方式といわれており、公(平塚市)の資金により民(事業者)が施設整備と運営を行うものである。施設整備と運営を関連会社が実施することから効率的な運営

理が行われると考える。

議員 DBO方式を採用するに至った経緯を聞きたい。

環境部長 十九年度に仮称「次期環境事業センター」運営方式導入可能性調査を行った。その最終報告書においてDBO方式が最も望ましいとの結論が出たため、庁内組織であるごみ処理施設建設検討委員会等の議論を経て合意を得た。

議員 焼却炉の規模は三一五トンのことだが、適正な規模なのか。

環境部長 一人当たりの一日のごみ排出量や排出量予測データを算出し、推計人口を乗じて算出したものであり、適正な施設規模であると考えている。

議員 二宮町の復旧はごみ処理広域化については現在、平塚、大

磯の一市一町で進めているが、二宮町が復帰し、当初の計画である一市二町に戻すことはあるのか。

環境部長 二宮町から復帰を望む話はあるが、応分の負担についての具体的な提案がなされてから正式な協議が開始される

ものと考えている。現時点では大磯町との一市一町での広域化に向けた事務作業が続いている。

議員 最終処分場は三十九年度まで延命使用することだが、二宮町が復帰した場合、現在の計画で十分なのか。

環境部長 現在の計画では、新たな焼却施設で発生する焼却灰は資源化を図ることで埋め立て量が五分の一になると想定しているが、二宮町が復帰した場合はこの計画を変更する必要があるものと考えている。

猫の不妊及び去勢手術補助金 交付要件等を見直し

議員 本市では野良猫を減らすため、市民等が飼養する猫の不妊や去勢手術費の一部を補助する「平塚市猫不妊及び去勢手術補助金」制度を平成十九年十月一日に導入した。この補助金制度の内容を聞きたい。

環境部長 生後三か月以上の猫を飼養する市内在

住者に対し、同一年度内は一世帯一匹分、雌猫には三〇〇〇円、雄猫には二〇〇〇円を交付するもので、市内および隣接市町で開業する獣医師が手術を行うこととしている。

議員 補助金額の予算として十九年度は八万五〇〇〇円、二十年度は一七五万円が計上されているが、現在までの利用率を伺いたい。

環境部長 十九年度の交付件数は八三件、二二万七〇〇〇円で、予算に対する利用率は二四・八%である。二十年度の八月末日までの交付件数は二八件、七万二〇〇〇円で、利用率は約四・一%となっている。

議員 本制度導入後一年が経過し、補助金交付要綱を見直すとのことだが、その内容を聞きたい。

環境部長 見直しの主なものは①現行の要綱の「猫を飼養している」の「飼養」を外すこと、②同一年度一世帯の対象を「五匹」までとすること、③補助金額を雌猫五〇〇〇円、雄猫三〇〇〇円とすること、④手術する開業獣医師を「神奈川県内」とすること、の四点である。これらの改正は平成二十年十月一日の施行を目指して事務手続きを進めている。



平塚市環境事業センター

議員 二宮町の復旧はごみ処理広域化については現在、平塚、大

議員 広汎性発達障害は五歳頃になると発見率が高くなると聞かれますが、本市では五歳児健診を実施していない。実施した場合

発達障がい早期発見を 5歳児健診導入の考え聞く

議員 五歳児健診を導入する考えはあるのか聞きたい。

健康・子ども部長 五歳児は集団遊びなどをする時期であり、保育士等が障がいの早期兆候を発見し、子供の個性に合った早期支援を行っている。

議員 五歳児健診を導入する場合は課題を聞きたい。

健康・子ども部長 軽度の障がいを発見するには健診時の人員確保や、専門技術者の養成などの問題がある。また、障がいが発見された児童が小学校に入学してからの継続した支援体制の構築が課題であると考えている。